

第2部
災害時の感染症対策を考える

特定非営利活動法人
Hand Over Japan
佐藤 純



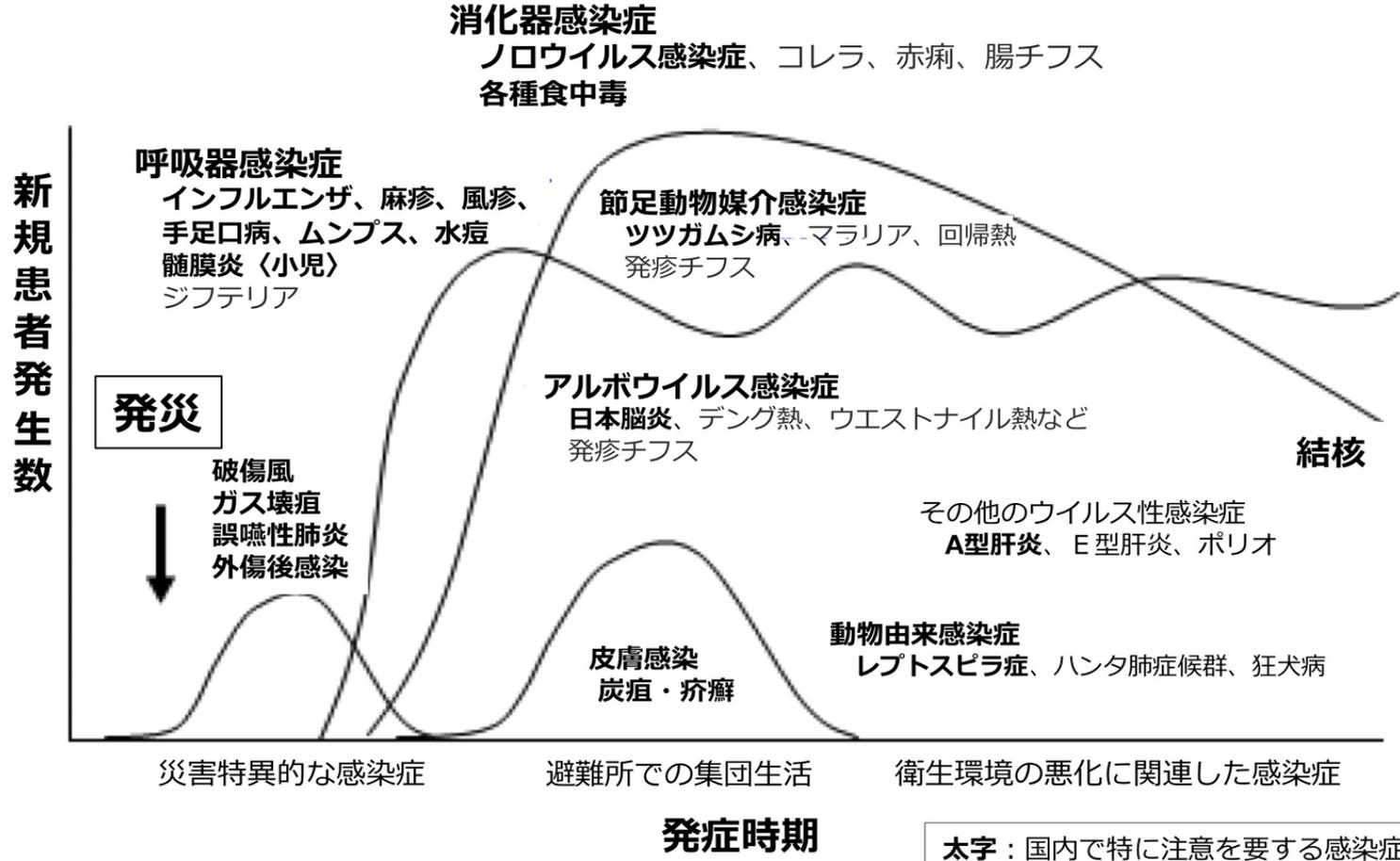
本日の内容

- ・ 災害における感染症
- ・ 災害時の感染症対策
 - 体調管理
 - トイレ
 - ゴミ処理
 - 食事



災害における感染症





【見るべきポイント】

- 発熱
- 咳
- 皮疹・痛みを伴う腫れ
- 深い傷
- 嘔吐
- 下痢

図2 災害後に問題となる感染症と発症時期

出典：日本環境感染学会「大規模自然災害の被災地における感染制御マネジメントの手引き」



災害時の感染症対策



体調管理

- ・ 体温を測定し、体調不良時は出かけたり仕事に行かない
- ・ 解熱剤を内服しながら仕事をしない
- ・ 体温計を常備

自分で管理すること

体調管理の項目

- ・ 体温
- ・ 風邪症状
(咳・高熱・頭痛・鼻づまり・関節痛・下痢・食欲低下)



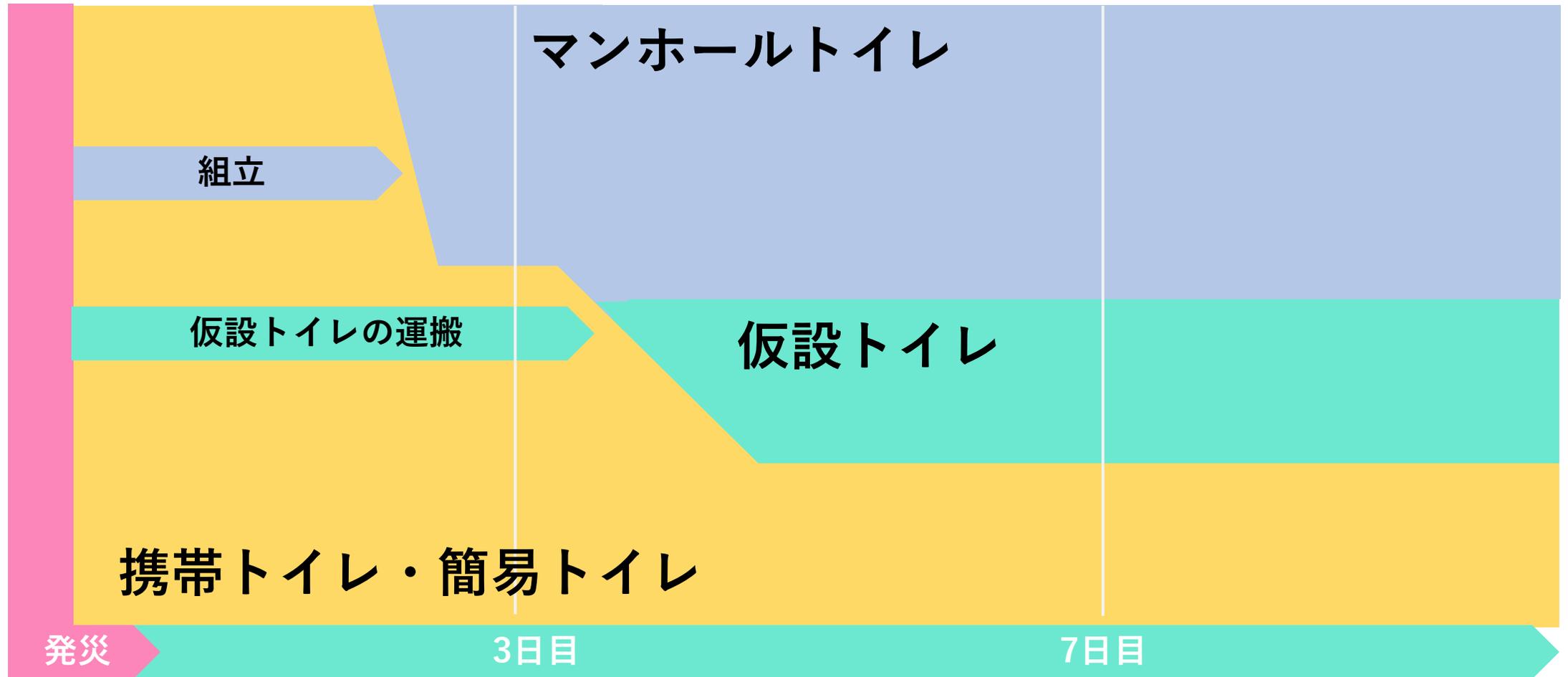
災害時のトイレ





循環型水洗式トイレユニット

災害時のトイレ



参考：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」令和4年3月



災害時のトイレの備えと確認のポイント ～在宅避難～

トイレの備えをする

Toilet 簡易トイレの数の目安：家族人数×トイレ回数×備える日数
(例) 2人×6回×7日分=84回分

Toilet トイレに関連する備蓄
・トイレットペーパー・手指消毒剤・蓋付のゴミ捨て容器
・照明・廃棄のためのゴミ袋など

簡易トイレを設置する場所を決める

Toilet 安全な場所・プライバシーの配慮・灯りの確保

Toilet 自宅のトイレに設置ができない場合は、トイレの場所を確保



災害時のトイレの備えと確認のポイント ～避難所・施設～

発災直後から、トイレの環境整備を始める

Toilet トイレ管理責任者を決める

Toilet トイレの数は足りているか把握し、不足分の手配をする

簡易トイレを設置する場所を決める

Toilet 安全な場所・プライバシーの配慮・灯りの確保

Toilet 配慮する方へのトイレやおむつ交換場所も併せて決める



ゴミ処理

<ごみ処理の大原則>



正しく分別をする

(段ボールやゴミ袋を使って、ラベリングして区分する)



居住場所の共通ごみ捨て場である程度ごみがたまったら、定期的に保管場所に移す



保管場所のごみは、密封して消臭剤や消毒剤も活用



個人スペースにごみを放置しないというルールを徹底



写真：PBV



食事

食事の温度管理できない、手洗いができないことで**食中毒が発生する**



食べる前には手をキレイにする
除菌シート、アルコール消毒



炊き出しは受け取ったら早めに
食べ切る



調理器具や食器が洗えないため
ラップや袋などを活用する



まとめ

- 災害時には様々な感染症のリスクがある
- 災害時の感染対策は、トイレ・ゴミ処理・食事を重点的に
- トイレの備えは十分かの確認から
- トイレの環境整備が重要
- ゴミは分別して、ゴミからの感染や害虫の発生を防ぐ
- 食事の前には手をきれいにする

水が出ないことを想定した備えをしよう！

